

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置



多摩美術大学 美術学部
統合デザイン学科・演劇舞踊デザイン学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 多摩美術大学
平成28年5月1日現在

目次

美術学部

<統合デザイン学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要 (省略)
3. 施設・設備の整備状況、経費
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況 (省略)
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

<演劇舞踊デザイン学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要 (省略)
3. 施設・設備の整備状況、経費
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況 (省略)
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 多摩美術大学

(2) 大学名

多摩美術大学

(3) 大学の位置

〒158-8558

東京都世田谷区上野毛3-15-34

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジタニ ノブト) 藤谷 宣人 (平成3年4月)		
学長	(イガラシ タケノブ) 五十嵐 威暢 (平成23年4月)	(タテハタ アキラ) 建畠 哲 (平成27年4月)	前学長任期満了に伴う学長選考のため(平成27年4月) (27)
学部長	(ナカノ ヨシユキ) 中野 嘉之 (平成25年4月)	(ノグチ ヒロフミ) 野口 裕史 (平成28年4月)	前学部長定年退職に伴う交代のため(平成28年4月) (28)
学科長等	(フカサワ ナオト) 深澤 直人 (平成26年4月)		

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
美術学部 統合デザイン学科 学士(芸術)	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成26年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120人 (—) [若干名]	—人	120人 (—) [若干名]	—人	120人 (若干名) [若干名]	—人	—人	—人	1.10倍	
志願者数	720 (—) [7]	— () []	788 (—) [14]	— () []	762 (6) [22]	() () []	() () []	() () []		
受験者数	697 (—) [7]	— () []	754 (—) [13]	— () []	747 (5) [21]	() () []	() () []	() () []		
合格者数	225 (—) [5]	— () []	236 (—) [5]	— () []	262 (1) [9]	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	132 (—) [4]	— () []	132 (—) [4]	— () []	132 (0) [7]	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.10 1.1		1.10		1.10					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] (—) 132	[] () —	[4] (3) 135	[] () —	[8] (11) 143	[] () —	[] ()	[] ()	
2年次	/		[4] (—) 126	[] () —	[2] (12) 129	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[3] (—) 111	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()
計			[4] (—) 132	[8] (3) 261	[13] (23) 383	[] ()			[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	132 人	9 人	平成26年度	3 人	0 人	成績不良(3人)	0.1 %
			平成27年度	6 人	0 人	進路変更(4人) 健康理由(1人) 成績不良(1人)	
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	132 人	5 人	平成27年度	5 人	1 人	進路変更(4人) 健康理由(1人)	0.0 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	132 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	396 人	14 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	131,674 m ²	0 m ²	0 m ²	131,674 m ²				
	運動場用地	32,120 m ²	0 m ²	0 m ²	32,120 m ²				
	小 計	163,794 m ²	0 m ²	0 m ²	163,794 m ²				
	そ の 他	16,686 m ²	0 m ²	0 m ²	16,686 m ²				
	合 計	180,480 m ²	0 m ²	0 m ²	180,480 m ²				
(2) 校 舎	専 用	112,640 m ² 108,471 m ² 108,269 m ² (112,640 m ²) (108,471 m ²) (108,269 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	計 112,640 m ² 108,471 m ² 108,269 m ² (112,640 m ²) (108,471 m ²) (108,269 m ²)				
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
(3) 教 室 等	44 室 43 室 50 室	113 室 100 室 110 室	266 室 269 室 280 室	24 室 26 室 (補助職員 0人)	0 室 4 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		学科ごとの合同研究室とし、その室内に個々の研究スペースを確保する			
	美術学部 統合デザイン学科			1 室					
				室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書等の開設時の充実化を図ったため(26)	
		美術学部	212,000 [78,000] (200,321 [70,786]) (191,577 [67,701])	2,310 [1,160] (2,201 [1,095]) (2,176 [1,074])	0 [0] (0 [0])	3,146 (8,519) (3,146)	15,152 (14,152)		5,415 (5,215)
	計	212,000 [78,000] (200,321 [70,786]) (191,577 [67,701])	2,310 [1,160] (2,201 [1,095]) (2,176 [1,074])	0 [0] (0 [0])	3,146 (8,519) (3,146)	15,152 (14,152)	5,415 (5,215)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	6,738.99 m ²		430 席	326,000 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	885.76 m ²		TAUホール 1,652.87 m ² テニスコート 5 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	美術学部全体 決算による確定額及び大学全体からAC対象学部への変更に伴う額の変更のため(27)
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	32,577千円 44,501千円 31,000千円	32,366千円 33,450千円	40,800千円	
	共同研究費等	17,113千円 20,500千円	25,300千円	設備購入費	157,693千円 263,107千円 38,000千円	406,134千円 342,500千円	380,000千円	大学全体 決算による確定額のため(26)	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生1人当りの納付金は届出学科全体	
	1,905千円	1,605千円	1,605千円	1,605千円	—	—			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。

＜美術学部統合デザイン学科＞

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	多摩美術大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院 美術研究科									
博士後期課程								東京都八王子市鎌水2丁目1723番地	
美術専攻	3	7	—	21	博士(芸術)	0.80	平成13年度	同上	
博士前期課程								同上	
絵画専攻	2	60	—	120	修士(芸術)	0.79	昭和39年度	同上	
彫刻専攻	2	12	—	24	修士(芸術)	0.95	昭和39年度	同上	
工芸専攻	2	10	—	20	修士(芸術)	0.90	平成14年度	同上	
デザイン専攻	2	45	—	90	修士(芸術)	1.20	昭和39年度	同上	
芸術学専攻	2	10	—	20	修士(芸術)	0.55	平成10年度	同上	
美術学部									
絵画学科	4	195	—	765	学士(芸術)	1.08	昭和28年度	東京都八王子市鎌水2丁目1723番地	
彫刻学科	4	30	—	120	学士(芸術)	1.14	昭和28年度	同上	
グラフィックデザイン学科	4	184	—	724	学士(芸術)	1.04	昭和28年度	同上	
情報デザイン学科	4	122	—	482	学士(芸術)	1.15	平成10年度	同上	
環境デザイン学科	4	80	—	320	学士(芸術)	1.07	平成10年度	同上	
生産デザイン学科	4	104	—	404	学士(芸術)	1.09	平成10年度	同上	
工芸学科	4	60	—	240	学士(芸術)	1.10	平成10年度	同上	
芸術学科	4	40	—	205	学士(芸術)	0.93	昭和44年度	同上	
統合デザイン学科	4	120	—	360	学士(芸術)	1.10	平成26年度	東京都世田谷区上野毛3丁目15番34号	
演劇舞踊デザイン学科	4	80	—	240	学士(芸術)	1.07	平成26年度	同上	
造形表現学部									
造形学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成11年度	東京都世田谷区上野毛3丁目15番34号	※平成26年度より学生募集停止
デザイン学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成11年度	同上	同上
映像演劇学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成11年度	同上	同上

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科),

＜美術学部統合デザイン学科＞

大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年4月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<美術学部 統合デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 授業科目数 必修7科目・選択89科目・自由9科目、計105科目	① 共通教育科目において英語教育の強化・充実化を図るため、選択5科目を追加した。 専門教育科目において、社会の変化と多様化に対応し、少人数クラスをさらに充実化するため、選択2科目「プロジェクトD-I」「プロジェクトE-I」を追加した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制		
a 委員会の設置状況		
<ul style="list-style-type: none"> 教育充実検討委員会(カリキュラム検討部会、自己点検・評価部会、生涯学習部会)、カリキュラム委員会をはじめ各種委員会等を設けている。 		
b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)		
カリキュラム検討部会		
平成24年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成25年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成27年度	8回開催	教員の参加状況は良好である。
自己点検・評価部会		
平成23年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成24年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成26年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成27年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
カリキュラム委員会		
平成24年度	7回開催	教員の参加状況は良好である。
平成25年度	6回開催	教員の参加状況は良好である。
平成26年度	6回開催	教員の参加状況は良好である。
平成26年度	5回開催	教員の参加状況は良好である。

c 委員会の審議事項等

カリキュラム検討部会

- ・ カリキュラム編成に関する諸問題と改革について
- ・ 教養教育カリキュラム改革について
 - ①教養教育カリキュラム設計書
 - ②共通教育時間割ゾーン・ルール
 - ③共通教育シェイプアップ実施一覧
- ・ 英語教育に関する検討について
- ・ ディプロマ・ポリシーについて
- ・ カリキュラム・ポリシーについて

自己点検・評価部会

- ・ 授業評価アンケートの実施について
- ・ FD推進のための教員相互の授業参観の実施について 等

カリキュラム委員会

- ・ 本学のカリキュラムの現状分析について（授業科目別履修者数等）
- ・ 各学科のカリキュラム編成、授業科目の配置について
- ・ 成績評価基準の厳格な運用について 等

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 講評会の実施
- ・ 学生による授業評価アンケートの実施、集計結果の活用
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ リザーブド・ブックシェルフコーナーの設置 等

b 実施方法

- ・ 講評会：美術大学の大きな特色として、教員と学生が一同に会して教育成果発表や意見交換を行う場
- ・ リザーブド・ブックシェルフコーナー：シラバスに記載の教科書・参考書を複数冊購入し、図書館に設置

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 全ての教員を対象として実施（既設の学科で実施、平成26年度より新設の学科においても実施）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 講評会はオープンスペースで行われるため、他学科等の教員にとって教授法の開発の役割も担ってきた。学外の特別講師なども参加する機会もあり、教員相互間だけでなく学外者も含めた広い視野での教授法の開発に役立っている。また、その教育成果の発表は授業の「ねらい」と共に展開されることが多く、教授法が他学科等の教員だけでなく、学生や学外者の評価を受けることになる。このような学生、教員相互、学外者に開かれた講評会の取り組みを通じて、PBL科目の設置など新しい教育方法の実現に繋げていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年度前期・後期の2回実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

授業評価アンケートは、原則として全授業科目を対象に実施する。
平成22年度よりアンケートの設問項目を全面的に見直して、美術大学に相応しく〔標準（講義系）〕、
〔実技制作〕の2種類を用意した。結果の活用方法については、学科別集計結果（表）を学内Web上に
公開し、各教員はレポートを作成して学科長に提出している。また、教員は授業評価の結果を翌年度
のシラバスの改善にも繋げている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨・目的

本学は開学以来、広く造形芸術全般について高度な学理技能を教授研究し、あわせて国際社会に対応する幅広い教養を身に付けた人格の形成を図り、現代社会に貢献する優れた芸術家、デザイナー並びに教育者研究者等を育成することを目的として、教育研究の充実と高度化を図ってきた。

平成26年4月、本学はデザイン教育をさらに発展、深化させる必要があると考え、美術学部として新たに統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科を開設した。

統合デザイン学科は、コミュニケーション系デザイン(グラフィックデザイン学科、情報デザイン学科)とものづくり系デザイン(生産デザイン学科、環境デザイン学科)に、これらの領域を有機的に統合させたデザイン教育を行う学科である。

演劇舞踊デザイン学科は、演劇と舞踊というジャンルで人材(舞台に上がる人材及び舞台空間を作る人材)を育てることを目的とする学科である。

2. 教育課程の編成

上記の設置の趣旨・目的を達成するために、教育課程は体系的に編成がなされている。

「独立した作家、専門職業人の育成」という目的実現のために、専門知識と総合的視野の獲得を可能とするバランスの取れた教育課程編成、特に専門教育では基礎的知識・技能と応用力を身に付けるための段階的なカリキュラムときめ細やかな指導を目標としている。

教育課程は、学科等が編成する専門性の高いカリキュラムと、共通教育センターが編成する教養・総合教育のための横断的カリキュラムから成る。両カリキュラムを車の両輪のように編成し、「高い専門性と総合性の融合」を実現することを目標としている。

開設初年度の教育課程編成は、上記の目標に沿って設置時の計画どおり履行している。

3. 教員組織の編成

教員組織編成の考え方としては、各領域に対応した学科等ごとの教員配置、きめ細やかな指導を実現する少人数教育体制を目標とし、これらの2つの体系で行っている。

上記の二つの体系で教員配置を行っている理由は、独立した作家、専門職業人の育成に欠くことの出来ない「高い専門性と総合性の融合」という教育目標を掲げているからである。

上記の目標を達成し、高い専門性を確保するために、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科共に、実技・演習科目において、設置時の計画より、さらに兼任教員を増員した(一部兼任教員の変更を含む、専任教員については変更はない)。

4. 教育方法、履修指導方法

本学の教育が、専門教育科目を中心として、全学的に必修または選択必修の配分が大きくなっているのは、専門的な技能の修得と訓練に重きを置いたカリキュラム編成を行っているためである。統合デザイン学科及び演劇舞踊デザイン学科は、主要な専門教育科目は履修年次を指定して、学年ごとに段階的に学べるよう、授業科目を体系的に配置する。一方で、共通教育科目には、教養教育、外国語科目など多くの授業科目をバランスよく開講し、学生はここから自由に選択することができる。

これらを学生が入学時に正しく理解するために、既設の学科と同様に、新入生に対する学習指導及び履修指導を入学式当日の午後から授業開始までの4日間にオリエンテーションの一環としてきめ細やかな対応を行っている。

事務部門で行うオリエンテーションでは、「履修案内」「シラバス」等を参照しながら、教育理念、教育目標、学則、履修、単位、学事日程、授業期間、授業時間、進級・卒業要件、試験、成績評価など、学修を行う上で必要な事項について説明を行う。さらに、研究室で行う、オリエンテーションでは、学科等別に実施され、各学科等の理念、教育目標、学修内容、進級・卒業の要件などについての説明、ならびに教育紹介などを行う。美術大学には不可欠な実技教室やアトリエ、或いはキャンパス全体の案内なども行っている。

5. 学生の受け入れ

統合デザイン学科は、平成26年度は入学定員120名に対して720名の出願があり、入学者数132名となり入学定員超過率は1.1倍であった。平成27年度は788名の出願があり、入学者数132名となり入学定員超過率は1.1倍であった。平成28年度は762名の出願があり、入学者数132名となり入学定員超過率は1.1倍であった。

演劇舞踊デザイン学科は、平成26年度は入学定員80名に対して206名の出願があり、入学者数81名となり入学定員超過率は1.01倍であった。平成27年度は前年度を上回る258名の出願があり、入学者数87名となり入学定員超過率は1.08倍であった。平成28年度は257名の出願があり、入学者数86名となり入学定員超過率は1.08倍であった。

6. 総括評価・所見

以上のように、統合デザイン学科および演劇舞踊デザイン学科は、既設の学科等と同様に設置の趣旨・目的の達成のため適正に履行していると考えており、引き続き取り組みを継続していく。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
・平成28年3月24日 公表
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に公益財団法人 大学基準協会の大学評価(認証評価)を受け、適合していると認定される。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成28年2月20日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 多摩美術大学

(2) 大学名

多摩美術大学

(3) 大学の位置

〒158-8558
東京都世田谷区上野毛3-15-34

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジタニ ノブト) 藤谷 宣人 (平成3年4月)		
学長	(イガラシ タケノブ) 五十嵐 威暢 (平成23年4月)	(タテハタ アキラ) 建畠 哲 (平成27年4月)	前学長任期満了に伴う学長選考のため(平成27年4月) (27)
学部長	(ナカノ ヨシユキ) 中野 嘉之 (平成25年4月)	(ノグチ ヒロフミ) 野口 裕史 (平成28年4月)	前学部長定年退職に伴う交代のため(平成28年4月) (28)
学科長	(ヤマシタ ツネヒコ) 山下 恒彦 (平成26年4月)	(タカツ ユキオ) 高都 幸男 (平成28年4月)	前学科長任期満了に伴う交代のため(平成28年4月) (28)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
美術学部 演劇舞踊デザイン学科 学士(芸術)	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人	—人	(—) [若干名]	(—) [若干名]	80人	—人	80人	—人	() []	() []	1.05倍	—倍
志願者数	206 (—) [4]	— () []	258 (—) [5]	— () []	257 (4) [5]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	194 (—) [4]	— () []	250 (—) [4]	— () []	239 (4) [5]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	118 (—) [2]	— () []	119 (—) [2]	— () []	108 (3) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	81 (—) [2]	— () []	87 (—) [0]	— () []	86 (2) [1]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.01		1.08		1.08							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 81	[] ()	[0] (2) 90	[] ()	[1] (7) 93	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[2] (-) 76	[] ()	[1] (7) 86	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[1] (-) 70	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[2] (-) 81		[2] (2) 166		[3] (14) 249		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	81 人	6 人	平成26年度	3 人	0 人	進路変更(2人) 一身上の都合(1人)	0.1 %
			平成27年度	3 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	87 人	2 人	平成27年度	2 人	0 人	進路変更(1人) 除籍(1人)	0.0 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	86 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	254 人	8 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	131,674 m ²	0 m ²	0 m ²	131,674 m ²				
	運動場用地	32,120 m ²	0 m ²	0 m ²	32,120 m ²				
	小 計	163,794 m ²	0 m ²	0 m ²	163,794 m ²				
	そ の 他	16,686 m ²	0 m ²	0 m ²	16,686 m ²				
	合 計	180,480 m ²	0 m ²	0 m ²	180,480 m ²				
(2) 校舎	専 用	112,640 m ² 108,471 m ² 108,269 m ² (112,640 m ²) (108,471 m ²) (108,269 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	計 112,640 m ² 108,471 m ² 108,269 m ² (112,640 m ²) (108,471 m ²) (108,269 m ²)				
	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教室等	44室 43室 50室	113室 100室 110室	266室 269室 280室	24室 26室 (補助職員 0人)	0室 4室 (補助職員 0人)	大学全体			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		学科ごとの合同研究室とし、その室内に個々の研究スペースを確保する			
	美術学部 統合デザイン学科			1 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書等の開設時の充実化を図ったため(26)	
	美術学部	212,000 [78,000] (200,321 [70,786]) (191,577 [67,701])	2,310 [1,160] (2,201 [1,095]) (2,176 [1,074])	0 [0] (0 [0])	3,146 (8,519) (3,146)	15,152 (14,152)	5,415 (5,215)		
	計	212,000 [78,000] (200,321 [70,786]) (191,577 [67,701])	2,310 [1,160] (2,201 [1,095]) (2,176 [1,074])	0 [0] (0 [0])	3,146 (8,519) (3,146)	15,152 (14,152)	5,415 (5,215)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	6,738.99 m ²		430 席	326,000 冊					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	885.76 m ²		TAUホール 1,652.87 m ² テニスコート 5 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	美術学部全体 決算による確定額及び大学全体からAC対象学部への変更に伴う額の変更のため(27)
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	32,577千円 44,501千円 31,000千円	32,366千円 33,450千円	40,800千円	
	共同研究費等	17,113千円 20,500千円	25,300千円	設備購入費	157,693千円 263,107千円 38,000千円	406,134千円 342,500千円	380,000千円	大学全体 決算による確定額のため(26)	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生1人当りの納付金は届出学科全体	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	多摩美術大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院 美術研究科									
博士後期課程								東京都八王子市鎌水2丁目1723番地	
美術専攻	3	7	—	21	博士(芸術)	0.80	平成13年度	同上	
博士前期課程								同上	
絵画専攻	2	60	—	120	修士(芸術)	0.79	昭和39年度	同上	
彫刻専攻	2	12	—	24	修士(芸術)	0.95	昭和39年度	同上	
工芸専攻	2	10	—	20	修士(芸術)	0.90	平成14年度	同上	
デザイン専攻	2	45	—	90	修士(芸術)	1.20	昭和39年度	同上	
芸術学専攻	2	10	—	20	修士(芸術)	0.55	平成10年度	同上	
美術学部									
絵画学科	4	195	—	765	学士(芸術)	1.08	昭和28年度	東京都八王子市鎌水2丁目1723番地	
彫刻学科	4	30	—	120	学士(芸術)	1.14	昭和28年度	同上	
グラフィックデザイン学科	4	184	—	724	学士(芸術)	1.04	昭和28年度	同上	
情報デザイン学科	4	122	—	482	学士(芸術)	1.15	平成10年度	同上	
環境デザイン学科	4	80	—	320	学士(芸術)	1.07	平成10年度	同上	
生産デザイン学科	4	104	—	404	学士(芸術)	1.09	平成10年度	同上	
工芸学科	4	60	—	240	学士(芸術)	1.10	平成10年度	同上	
芸術学科	4	40	—	205	学士(芸術)	0.93	昭和44年度	同上	
統合デザイン学科	4	120	—	360	学士(芸術)	1.10	平成26年度	東京都世田谷区上野毛3丁目15番34号	
演劇舞踊デザイン学科	4	80	—	240	学士(芸術)	1.07	平成26年度	同上	
造形表現学部									
造形学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成11年度	東京都世田谷区上野毛3丁目15番34号	※平成26年度より学生募集停止
デザイン学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成11年度	同上	同上
映像演劇学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成11年度	同上	同上

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科),

大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年4月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<美術学部 演劇舞踊デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 授業科目数 必修7科目・選択89科目・自由9科目、計105科目	① 共通教育科目において英語教育の強化・充実化を図るため、選択5科目を追加した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制		
a 委員会の設置状況		
<ul style="list-style-type: none"> 教育充実検討委員会(カリキュラム検討部会、自己点検・評価部会、生涯学習部会)、カリキュラム委員会をはじめ各種委員会等を設けている。 		
b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)		
カリキュラム検討部会		
平成24年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成25年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成27年度	8回開催	教員の参加状況は良好である。
自己点検・評価部会		
平成23年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成24年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成26年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
平成27年度	2回開催	教員の参加状況は良好である。
カリキュラム委員会		
平成24年度	7回開催	教員の参加状況は良好である。
平成25年度	6回開催	教員の参加状況は良好である。
平成26年度	6回開催	教員の参加状況は良好である。
平成26年度	5回開催	教員の参加状況は良好である。

c 委員会の審議事項等

カリキュラム検討部会

- ・ カリキュラム編成に関する諸問題と改革について
- ・ 教養教育カリキュラム改革について
 - ①教養教育カリキュラム設計書
 - ②共通教育時間割ゾーン・ルール
 - ③共通教育シェイプアップ実施一覧
- ・ 英語教育に関する検討について
- ・ ディプロマ・ポリシーについて
- ・ カリキュラム・ポリシーについて

自己点検・評価部会

- ・ 授業評価アンケートの実施について
- ・ FD推進のための教員相互の授業参観の実施について 等

カリキュラム委員会

- ・ 本学のカリキュラムの現状分析について（授業科目別履修者数等）
- ・ 各学科のカリキュラム編成、授業科目の配置について
- ・ 成績評価基準の厳格な運用について 等

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 講評会の実施
- ・ 学生による授業評価アンケートの実施、集計結果の活用
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ リザーブド・ブックシェルフコーナーの設置 等

b 実施方法

- ・ 講評会：美術大学の大きな特色として、教員と学生が一同に会して教育成果発表や意見交換を行う場
- ・ リザーブド・ブックシェルフコーナー：シラバスに記載の教科書・参考書を複数冊購入し、図書館に設置

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 全ての教員を対象として実施（既設の学科で実施、平成26年度より新設の学科においても実施）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 講評会はオープンスペースで行われるため、他学科等の教員にとって教授法の開発の役割も担ってきた。学外の特別講師なども参加する機会もあり、教員相互間だけでなく学外者も含めた広い視野での教授法の開発に役立っている。また、その教育成果の発表は授業の「ねらい」と共に展開されることが多く、教授法が他学科等の教員だけでなく、学生や学外者の評価を受けることになる。このような学生、教員相互、学外者に開かれた講評会の取り組みを通じて、PBL科目の設置など新しい教育方法の実現に繋げていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年度前期・後期の2回実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートは、原則として全授業科目を対象に実施する。

平成22年度よりアンケートの設問項目を全面的に見直して、美術大学に相応しく〔標準（講義系）〕、〔実技制作〕の2種類を用意した。結果の活用方法については、学科別集計結果（表）を学内Web上に公開し、各教員はレポートを作成して学科長に提出している。また、教員は授業評価の結果を翌年度のシラバスの改善にも繋げている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨・目的

本学は開学以来、広く造形芸術全般について高度な学理技能を教授研究し、あわせて国際社会に対応する幅広い教養を身に付けた人格の形成を図り、現代社会に貢献する優れた芸術家、デザイナー並びに教育者研究者等を育成することを目的として、教育研究の充実と高度化を図ってきた。

平成26年4月、本学はデザイン教育をさらに発展、深化させる必要があると考え、美術学部として新たに統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科を開設した。

統合デザイン学科は、コミュニケーション系デザイン(グラフィックデザイン学科、情報デザイン学科)とものづくり系デザイン(生産デザイン学科、環境デザイン学科)に、これらの領域を有機的に統合させたデザイン教育を行う学科である。

演劇舞踊デザイン学科は、演劇と舞踊というジャンルで人材(舞台上上がる人材及び舞台空間を作る人材)を育てることを目的とする学科である。

2. 教育課程の編成

上記の設置の趣旨・目的を達成するために、教育課程は体系的に編成がなされている。

「独立した作家、専門職業人の育成」という目的実現のために、専門知識と総合的視野の獲得を可能とするバランスの取れた教育課程編成、特に専門教育では基礎的知識・技能と応用力を身に付けるための段階的なカリキュラムときめ細やかな指導を目標としている。

教育課程は、学科等が編成する専門性の高いカリキュラムと、共通教育センターが編成する教養・総合教育のための横断的カリキュラムから成る。両カリキュラムを車の両輪のように編成し、「高い専門性と総合性の融合」を実現することを目標としている。

開設初年度の教育課程編成は、上記の目標に沿って設置時の計画どおり履行している。

3. 教員組織の編成

教員組織編成の考え方としては、各領域に対応した学科等ごとの教員配置、きめ細やかな指導を実現する少人数教育体制を目標とし、これらの2つの体系で行っている。

上記の二つの体系で教員配置を行っている理由は、独立した作家、専門職業人の育成に欠くことの出来ない「高い専門性と総合性の融合」という教育目標を掲げているからである。

上記の目標を達成し、高い専門性を確保するために、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科共に、実技・演習科目において、設置時の計画より、さらに兼任教員を増員した(一部兼任教員の変更を含む、専任教員については変更はない)。

4. 教育方法、履修指導方法

本学の教育が、専門教育科目を中心として、全学的に必修または選択必修の配分が大きくなっているのは、専門的な技能の修得と訓練に重きを置いたカリキュラム編成を行っているためである。統合デザイン学科及び演劇舞踊デザイン学科は、主要な専門教育科目は履修年次を指定して、学年ごとに段階的に学べるよう、授業科目を体系的に配置する。一方で、共通教育科目には、教養教育、外国語科目など多くの授業科目をバランスよく開講し、学生はこの中から自由に選択することができる。

これらを学生が入学時に正しく理解するために、既設の学科と同様に、新入生に対する学習指導及び履修指導を入学式当日の午後から授業開始までの4日間にオリエンテーションの一環としてきめ細やかな対応を行っている。

事務部門で行うオリエンテーションでは、「履修案内」「シラバス」等を参照しながら、教育理念、教育目標、学則、履修、単位、学事日程、授業期間、授業時間、進級・卒業要件、試験、成績評価など、学修を行う上で必要な事項について説明を行う。さらに、研究室で行う、オリエンテーションでは、学科等別に実施され、各学科等の理念、教育目標、学修内容、進級・卒業の要件などについての説明、ならびに教育紹介などを行う。美術大学には不可欠な実技教室やアトリエ、或いはキャンパス全体の案内なども行っている。

5. 学生の受け入れ

統合デザイン学科は、平成26年度は入学定員120名に対して720名の出願があり、入学者数132名となり入学定員超過率は1.1倍であった。平成27年度は788名の出願があり、入学者数132名となり入学定員超過率は1.1倍であった。平成28年度は762名の出願があり、入学者数132名となり入学定員超過率は1.1倍であった。

演劇舞踊デザイン学科は、平成26年度は入学定員80名に対して206名の出願があり、入学者数81名となり入学定員超過率は1.01倍であった。平成27年度は前年度を上回る258名の出願があり、入学者数87名となり入学定員超過率は1.08倍であった。平成28年度は257名の出願があり、入学者数86名となり入学定員超過率は1.08倍であった。

6. 総括評価・所見

以上のように、統合デザイン学科および演劇舞踊デザイン学科は、既設の学科等と同様に設置の趣旨・目的の達成のため適正に履行していると考えており、引き続き取り組みを継続していく。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
・平成28年3月24日 公表
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に公益財団法人 大学基準協会の大学評価(認証評価)を受け、適合していると認定される。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成28年2月20日)